

第29回HAB研究機構市民公開シンポジウム

突然死を防ごう

主催：特定非営利活動法人エイチ・エー・ビー研究機構

共催：慶應義塾大学薬学部

入場
無料

定員 300名(先着順)

2016年11月26日(土) 13:30～

慶應義塾大学薬学部 芝共立キャンパス2号館記念講堂
(東京都港区芝公園 1-5-30)

失神について

～突然死に至る怖い失神を見極める～

小林 洋一 先生 (昭和大学病院循環器内科 教授)

心臓突然死(ポックリ病)の対策

櫻田 春水 先生 (東京都保健医療公社大久保病院 院長)

脳梗塞を予防するために

～進化する抗凝固療法～

早崎 剛典 先生 (バイエル薬品株式会社)

後援：日本医師会、東京都医師会、日本循環器学会、日本内科学会、港区(順不同)

市民公開シンポジウム「突然死を防ごう」参加予約のお申込み

☎ 047-329-3563 ✉ information@hab.or.jp

受付時間：朝9時～夕方17時30分まで(土日・祝休み)

- ・お電話でのお申し込みは「お名前」、「参加登録券送付先ご住所」、「参加人数」をお伝えください。
- ・メールでお申し込みの際は、件名に「市民公開シンポジウム事前参加申し込み」、本文に「お名前」、「参加登録券送付先ご住所」、「参加人数」を明記してご送信ください。

※ご案内の目的以外にこれらの個人情報を使用することはありません。

研修薬剤師制度について

本シンポジウムは、財団法人日本薬剤師研修センター2単位(3時間)の会合です。認定シールをご希望の方は参加申し込みの際にお申し出ください。

お問い合わせ

NPO法人エイチ・エー・ビー研究機構 市民公開シンポジウム事務局
千葉県市川市菅野5-11-13 市川総合病院角膜センター内
TEL 047-329-3563 E-mail information@hab.or.jp
詳細ホームページ <http://www.hab.or.jp/29sympo/>



HABとは

HABとは、Human & Animal Bridgingの略で「ヒトと動物の架け橋」という意味です。病気やくすりの研究では実験動物とヒトとの種差のため思わぬ副作用が起こったりして大きな社会問題ともなります。HAB研究機構はこの隔たりを埋めるために、ヒト組織や細胞を用いた研究が必要不可欠であるという情報を、市民の皆様へ発信し共に考えていく団体です。